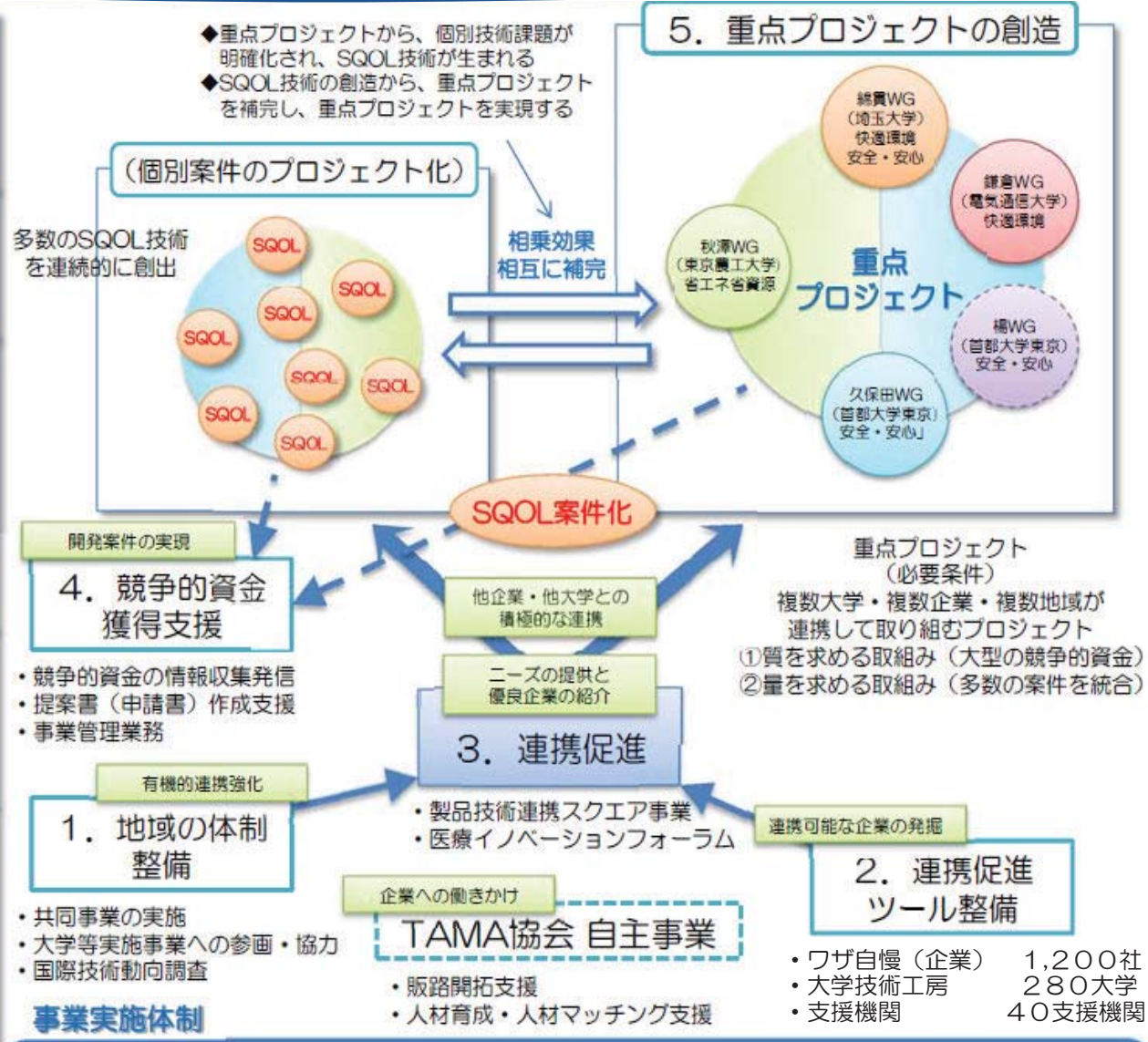


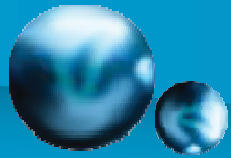
# 「地域ビジネスの振興」 TAMA協会の成功例

体制整備・出口戦略の明確化（強化）：重点プロジェクトWG推進・SQOL 案件の多数創出

- (1) 地域の体制整備【連携強化】**
- ◇総合調整機関主催事業を活用した連携強化
  - ◇大学実施事業への参画・協力による関係強化
  - ◇共同事業の実施を通じた関係強化
- (2) 連携促進ツール整備**
- ◇ワザ自慢 1,200社超の企業技術シーズ
  - ◇大学技術工房 7大学280の研究シーズ
- (3) 連携促進（個別案件のPJ化）**
- ◇製品技術連携スクエア（TCS）事業
    - ・地域イノベ技術連携交流会：500人超
    - ・プライベート交流会：大手企業別面談会
    - ・リアルタイム交流会：ニーズに基づく連携
    - ・オープンイノベ交流会：ニーズ公開型
    - ・ソリューション交流会：中小企業提案型
  - ◇医療イノベーションフォーラム：
- (4) 競争的資金獲得支援**
- ◇競争資金の情報収集発信：メルマガ、HP等
  - ◇提案書・申請書作成支援：競争資金確保支援
  - ◇事業管理業務：開発サポート・進捗管理
- (5) 重点プロジェクトの創造**
- ◇重点プロジェクトWGの企画・運営
  - ◇参画メンバーの調整
  - ◇質と量を求めたプロジェクト推進
    - ①質を求める取組み（大型の競争的資金）
    - ②量を求める取組み（多数の案件を統合）



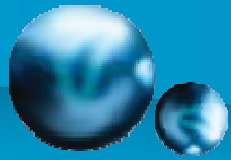
首都圏西部イノベーション推進協議会の実施 PD：1名配置 連携CD5名配置



# 地域の活性化と中小企業



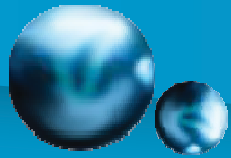
1. 地域立地企業へ雇用増の上、インセンティブ付与する政策。
2. 成長が期待される航空・宇宙、医療機器分野のP/J拡大。
3. 大企業の退蔵知財を中小企業で事業化。  
中小企業の技術・知財に対するリスペクト(尊重)。
4. 「G・N・T企業」の成長、育成を強化。



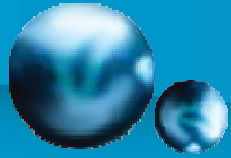
# 「ものづくり」を中心に地域の活性化



1. 「ものづくり」企業と地域全体の魅力創出の企業連携システム作り
2. 「ものづくり」企業の高付加価値製品開発と中小企業のマッチングシステム
3. 地域における産学官金による新事業化推進
4. 顧客ニーズから製品企画、試作で「ジョブショップ」の役割活用



1. 研究開発は大企業や大学、研究機関だけでは解決難しい。
2. 研究開発P/Jで小さな市場化には大企業は手を引く。
3. 研究開発型中小企業の最先端研究開発では設備等が  
高額(約10億円)で事業化まで予算不足。  
例: 航空機部品や医療機器関係分野など
4. 大企業や大学、研究機関と先端研究開発型中小企業が  
参加するP/Jの増加。



## 課題の克服を含め、今後我が国が整備すべき環境



1. 中小企業向けの研究開発予算を増額することは、単なる中小企業対策ではなく、政府全体の『成長戦略』であり、『科学技術政策』である。
2. 大型P/Jの設定(イノベーションの核となるテーマ)  
例:最先端Tiの加工技術と溶接技術強化プロジェクト
3. G. N. T. (グローバル・ニッチ・トップ)企業の研究開発を強かに促進。
4. 予算の最適な執行を今より良くする為に、各府省庁の気付きのない  
技術シーズを中小企業から広く発掘する。